

自分が“世界”と出会う場所

安平町立早来学園 (義務教育学校) について

はじめに

令和5(2023)年4月、早来地区に義務教育学校「早来学園」が開校します。

皆さんにもっと新しい学校について知っていただくため、令和3(2021)年8月号より連載を開始しました。

今月は、教育目標の詳しい内容について、決定した指定の制服やジャージについてご説明します。

今後広報紙で 紹介すること

今後は、次のようなテーマで早来学園に関する情報をお伝えしていく予定です。

10月号

教育活動の内容、図書館など地域開放区域の愛称、みんなの学校をつくる会の進捗状況などについて

11月号

開校までのスケジュールや進捗状況などについて

12月号

完成した建物の様子について

1月号

完成した建物にかかった費用などについて

※皆さんからの質問事項や事業の進み具合などによって、内容を変更することがありますのでご了承ください。

教育目標

先月紹介した左表の言葉には、それぞれ意味が込められています。ここでは、その内容についてご説明します。

早来学園 教育目標

生涯にわたって学び よりよい社会をつくるために

ふるさとを大切にし 自ら世界を広げる子
友だちと夢を語らい 未来に向かって挑戦する子
思いやりをもち 互いの良さを認め合う子

をめざします

『生涯にわたって学び』
しょうがい

よりよい社会をつくるために』

人は一生学び続けます。勉強は、学校だけでするものではありません。社会に出て仕事をするときも、自分の趣味を広げるときも、常に「学び」ます。

学校での「勉強」は、「学び」の一つの形であると言えます。

人が学び続け、自分の夢を社会とのつながりの中で追い求めることが、よりよい社会をつくっていく原動力となります。

『ふるさとを大切にし

自ら世界を広げる子』

人は身近な世界から体験と学びを重ね、少しずつものの見方を広げていきます。

そのためには、幼い頃から自分の身体を使って遊んだり、人と会話したり、他人と同じ場で一緒に何かをする経験が必要です。